

第24回恵那市歴史的風致維持向上計画協議会 会議要旨

日時：令和5年5月18日（木曜日） 13：30 ～ 15：00

場所：恵那市中山道明治天皇大井行在所

公開又は非公開の別 公開

出席者

出村嘉史会長、後藤俊彦副会長、長谷川良夫委員、森川彰夫委員、佐藤吉松委員、
石井伸吾委員、高井哲也委員、鈴木幸宣委員、長谷川公盛委員

欠席者

鈴木繁生委員

傍聴者 0名

1. 開会 (13:30)

2. 委員の委嘱

3. あいさつ

4. 議事

令和4年度 恵那市歴史的風致維持向上計画進捗評価について

- ・資料1 恵那市歴史的風致維持向上計画について

資料に基づき事務局から説明

【出村会長】

資料1に書いてある「タイムトラベル」という言葉は計画に書かれているのか。

【事務局】

あくまで、事務局が目指すビジョンとして書いており、計画自体に書かれているわけではない。

【出村会長】

この言葉は、色々な考え方がある。今の町を「時代村」の様にしていくとも読める。事務局がそういう方針で動いていることを念頭に置きながら、事業評価報告を聞いてほしい。

- ・資料2 令和4年度進捗評価シートについて

資料に基づき事務局から説明

【出村会長】

この計画は多岐に事業が渡っている。この制度の性質上、物を作る事業が多い。しかし、市民が中心となってやっているお金に換えられない文化振興も事業のひとつとして挙げられている。これらの事業の評価をするのが、この協議会の役割。

しかし、計画自体の振り返りをすることも必要。PDCA サイクルが回っていかないとダメ。日本の制度の多くは PDCA がきちんと回っているのを見たことが無いので、計画を否定するところは否定しなければならない。大きく揺るがすような変更や反省ができると一番良い。行政の性質上、この事業は上手くいっていると言わざるを得ないと思うが、次の計画を作るときのために、論点を残していければいいと思う。

◆岩村城登城道整備事業

【長谷川（良）委員】

舗装した道の材質はコンクリートか。

【事務局】

真砂土道となっている。

【長谷川（良）委員】

30 年近く前に岩村城の裏道を車で行ったことがあるが、非常に狭い道だった。標識を立てて、大きい車は入れないようにしたほうがいいのではないかな。

【事務局】

裏側は岩村町時代に観光道として整備されており、出丸が駐車場となっている。登城道として整備した表側は車が入れないようになっている。

【出村会長】

表側は作業車も登ることはできないのか。

【事務局】

作業車も途中にある曲輪の平坦部に車を停めて、一輪車を使って作業をしている。基本的には車は通行できない。

◆岩村城石垣修理事業

【森川委員】

三重櫓付近の畳橋土台の正面にコンクリートでできた構造物がある。何とか石垣に変更できないか。

【事務局】

岩村城の構造は雨が降った場合に、登城路が排水路の役割を果たすようになっている。該当の箇所は昭和 50 年代に水が抜けたところで、現在は個人の所有地となっている。現状では容易に修復できない部分であるため、該当箇所の修復は今後の課題である。

【出村会長】

これは修復時に違う素材でやってしまい、歴史の痕跡として残ってしまったというケース。時代考証の中で昔の素材に戻すべきか、どこに標準を合わせて直していくべきか大いに議論すべき内容といえる。次の計画を作る際にはスポットを当てるべき項目だと思う。

◆岩村城下町まちなみ保存事業

【出村会長】

資料右側の写真の説明が「修理後」になっているが、「修理中」の写真ではないのか。

【事務局】

修理中の写真のため、記載を「修理中」に修正する。

【高井委員】

補助額の部分について、記載の額と県担当者からの報告額で差異がある。

【事務局】

記載の額は誤り。補助額を 11,313 千円に修正する。

◆ふるさと文化普及継承事業

【出村会長】

地歌舞伎は公演するのに 100 万円以上費用かかると聞いた。補助金だけで公演しているのか、あるいは地歌舞伎の町衆からお金を集めて公演しているのか。助成額 17 万円とはどれほどに当たるのか。

【事務局】

助成金は伝統芸能大会へ出場する名目を出している。実質、8 割くらいは実費だと思われる。

【出村会長】

この資料だけを見ると、17 万円だけで賄っているように思える。他の事業の資料では、市民がどのように動いたなどが報告されている。地歌舞伎が残るということは、力の入れどころだと思う。もう少し詳しい説明があると、地歌舞伎を支えている仕組みがわかるのではないか。

◆中央公園整備事業

【出村会長】

町の中心部に元々あった公園をリニューアルし、再び多くの市民が利用できる公園にするという内容で計画に載せているが、ストーリーやデザインはどれほど練られたものなのか。最近、全国的に公園の付加価値が高まってきている。中央公園整備事業をこの計画に載せている意味合いや、それに資するデザインについて伺いたい。

【事務局】

中央公園は古い公園であるため、近所の人しか利用しない状況だった。今回、「子育て世代を中心に、多世代が交流できる公園」として、リニューアルすることとなった。6 月にオープニングイベントと同時開催で、年 4 回大井宿広場で行っているイベント「まちなか市」を中央公園で行う計画をしている。町の中心部にあまり来ない人に、来てもらうきっかけを作る目的でイベントを考えている。また、公園に無かった駐車場を整備したり、イベントに使う電源やシェルターを設置したりすることでイベント利用を増やし、「まちなかに賑わいを取り戻す」という観点で整備をした。

【出村会長】

公園のデザインを使うことはチャンス。今後、拠点となる公園は歴史的風致と絡めて直していくことが起こりうる。総合計画と関係しているが「町の中の多世代」とは誰のことを指し、大井町の周辺にどういうライフスタイルが築かれているかと密接に関わってくることになる。地域の拠点として、ソフトの事業と絡めていけるとこの計画の文脈に沿ってくると思う。

◆その他

【後藤副会長】

大井行在所にある明治天皇の肖像画は、岩村出身の原田芳洲が描いたもの。彼は肖像画家で、当時から名前を積極的に売らなかったもので、岩村の人でも知らない人がいる。最近、テレビ番組で原田芳洲の特集をやっていた。原田芳洲の肖像画は墨の作品が多いが、明治天皇の肖像画はカラーで描かれているので、観て行ってほしい。

【出村会長】

行在所は前年度にこの協議会で評価した事業。改修することによって、肖像画が引き立ってくる。それがあつて町の誇りとなるものは公共事業として整理してしかるべきで、もっと前面に出してもよいと思う。今回の意見は誇りがうまく回ったいい例だと思う。

◆全般

【出村会長】

個々の事業についての評価や進捗状況については「良し」ということでよろしいか。

(委員より、「良し」の発声)

【出村会長】

計画全般についてのことであるが、個々の事業がどのように繋がってくるか、総じて何を作ろうとしているのかが見えてこない。次計画を作るとなつたときに、次の段階が見えてこないのが懸念される。20 年後、50 年後に恵那の住民は何に満足して暮らしているのかが根底に絶対に必要だと思う。これを数年先に戻していくと、何をしなければいけないのかが見えてくる。令和 11 年度まで計画を続けていく中で、計画の内容を見直ししてもいいのではないのか。今回も個々の事業で課題が見えてきたので、協議会として計画の見直しの意見を投げかけてもよいと思う。

6. その他

【事務局】

令和5年度歴史的風致維持向上計画事業計画について

- ・資料3 令和5年度歴史的風致維持向上計画対象事業の予定について

資料に基づき事務局から説明

【事務局】

今年度事業については、すでに予算や計画が決まってしまっている段階のため、ここで意見があったとしても事業計画を修正するのは難しい。しかし、出村会長の意見でもあったように、この先を見据えたときに修正が必要だと思える。この協議会は年1回しか開催できていなかったが、令和6年度予算査定の時期に令和6年度の計画や事業について議論できる場を設けていきたい。

【出村会長】

この協議会は毎年チェックだけで終わって、後手に回っていた。次の手縦としてストーリーを練り直し、新しい網をかけていくという話なので、予算取りしやすくなると思う。これは積極的でいい話だと思う。

【事務局】

今回は大井宿で開催させていただいたが、岩村の話がたくさん出たため、次回の会場は岩村で検討させていただく。登城路なども見ていただきたい。

7. 閉会 (15:00)